

藤岡市まちづくりシンポジウム 開催報告

事業概要

平成 24 年 3 月 19 日（月）藤岡キャンパスにて、藤岡市まちづくりシンポジウムが開催されました。この催しは藤岡市と本学が地域連携の一環として、これからのまちづくりについて話し合おうというものです。今回のテーマは「藤岡のまちを元気にする方法について～自分たちでできる賑わい創出や活性化を考えよう～」。コーディネーターとして本学社会福祉学部長、パネリストとして藤岡市長や市民代表に加え、本学学長、学生が参加しました。

平成 24 年 3 月 19 日（日）

▶ 場所／群馬医療福祉大学看護学部



藤岡の活性化などについて語り合った「まちづくりシンポジウム」

パネリストの学生 4 人は、「通学路に街灯が少ない」「列車の本数が少ない」など現状への不満を吐露。市民との交流については「地域の活動をもっと教えてほしい」「交流を継続できる拠点づくりが必要」などと訴えた。

これに対し、新井市長は現状の改善に努力することを誓いながら、「看護を学びながら市に力を貸してほしい」と要望。鈴木学長も「素晴らしいまちづくりを市と共にしてい

藤岡でシンポ

藤岡市の現状や将来像を考える「まちづくりシンポジウム」が19日、同市の群馬医療福祉大藤岡キャンパス（看護学部）で開かれた。市民ら約130人が見守る中、新井明市長や鈴木利定学長、同学部の学生らパネリスト8人が藤岡の活性化などについて語り合った。

大学生が活性化策 市長らと語り合う

きたい」と応じた。

シンポジウムは市と同大、市民団体などの共同事業を円滑に進めるために昨年2月に設立された「ふじおか地域・大学連携会議」が主催。

「藤岡のまちを元気にする方法について」自分たちでできるにぎわいの創出や活性化を考えよう」をテーマに開かれた。

同大社会福祉学部長の笹沢武教授がコーディネーターを務め、パネリストの8人には藤岡青年会議所の柴山貴之理事長、中学校長の片山哲也会長も加わった。